

# えびあん

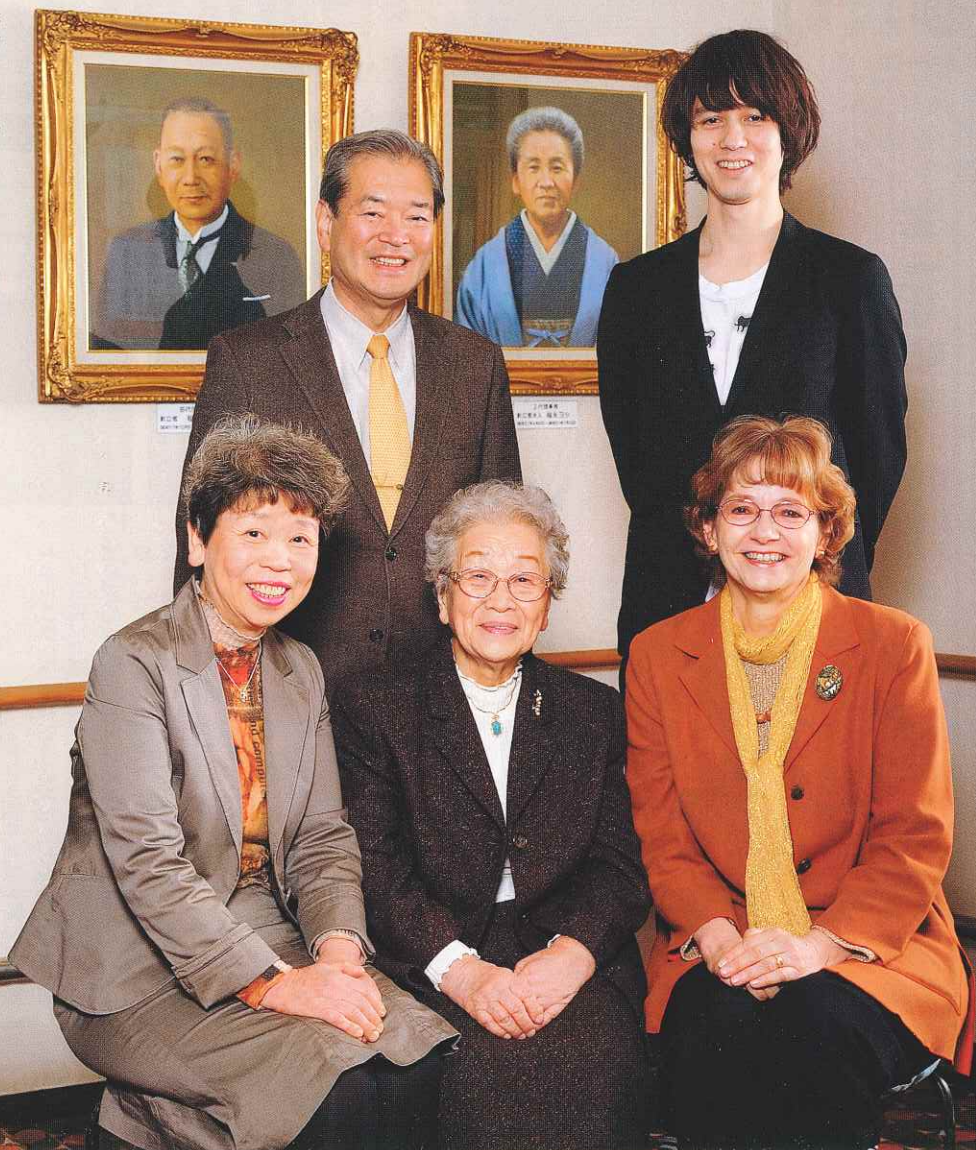
2

立川と語ろう 立川に生きよう

February 2012

Écoutez Bien Vol.30 No.327

表紙の人／至誠ホームのみなさん(錦町)



たまには野菜を甘くして

## 野菜のおやつ



### 〈野菜蒸しケーキ〉

#### 材料

上新粉100g、上白糖100g、ベーキングパウダー  
小さじ2、卵 2〜3個、人参1本  
ブロッコリー1/2個、甘納豆など

#### 作り方

- ① 人参1/2本を搾り、人参ジュースを作っておく。  
残りの人参はサイの目に切って、  
ブロッコリーと一緒に硬めに茹でておく。
- ② 卵白を泡立て、粉と砂糖とBPを混ぜ合わせたものを  
卵白にサックリ混ぜ、卵黄も混ぜる。
- ③ ②の一部に  
①で作っておいた人参ジュースを混ぜる。
- ④ 竹のザルなどにクッキングシートを敷いて  
そこに②を流し込む。  
①で茹でておいた人参やブロッコリーを入れ、  
甘納豆も混ぜる。
- ⑤ ④の上に③を流し入れる。
- ⑥ 蒸し器で20分くらい蒸し、  
竹串をさして生地がついてこなかったらできあがり。

※しっとりしていて食べやすく、見た目にも野菜の色が鮮やかできれいです。

### 〈ごんぼ茶〉

#### 材料

ごぼう、水

#### 作り方

- ① 泥付きごぼうを洗ってささがきにする。
- ② 天日で干すか、電子レンジで水分を飛ばす。
- ③ ②を、香ばしい香りがするまで  
空煎りする。
- ④ ③を水からよく煮出す  
(量は好みで)。

※テレビで放送されたとかで人気の高い野菜茶です。煮出したお茶が時間の経過で変色するのは、焙煎が足りない場合だそうですが、青くなったり緑になったり、ごぼうってこんなにきれいだったかと思います。



# 戦記物から見えてくる 融和世界

世界平和のかけはしとなる

高麗大学 日本研究センターHK研究教授 金時徳さん

平成23年9月、第4回「日本古典文学学術賞」を受賞した金時徳(キム・シドク)先生。

研究業績は『異国征伐戦記の世界 — 韓半島・琉球列島・蝦夷地 —』、国文学研究資料館在籍中のテーマだ。

韓国人の金先生に「異国征伐」と言われるとなんとなく臆するところがないでもない。

一体どういうことか聞いてみた。

—先生のご本のタイトル、ドキッとしますよね。

金 そうですね。でも、このタイトルは両面的に受け止められてしまっていてね、韓国で本を贈呈すると「侵略じゃなくてなぜ征伐になっているのか」と言われたりもします(笑)。反対に日本で私が言われるのは、侵略された側の人がこういう本を書いたから、自由に研究できるようになったと。

—そうですね。私もどう話を始めたらいいのだろうと思いました。

金 日本の先生たちと親しくなると、「秀吉の戦争ではすまなかった」と言われるんですね。500年前のことで謝られても困るんですけど(笑)、そういう意識があるのでこの話題を避けたいという気持ちはわかります。

—そこにあえて切り込まれた。そもそもの発端はなんだったのでしょうか。

金 境界というものに興味がありました。昔NHKのシルクロードという番組がありましたね。韓国でも流行ってまして、それを見たのが小学生、中学生の頃でした。イランの発掘を見ていると、たまに髪飾りなどが出て来ます。それが新羅のものともまったく同じなんです。ゴロゴロ出て来る様子を見ていて、いつか考古学者になって発掘し自分のものにしよう(笑) 漠然と憧れていたんです。文明の果て、昔文明が栄えた所、それがおもしろいという気持ち

がもともとあったんです。

—日本にも興味がおありだったんですか?

金 日本には感情的な親しみを感じています。と同時に、日本が異国との関係でアイデンティティを獲得していく過程については、理性的な面で問題意識を持っています。日本における他文明との境界が沖縄であり、韓国であり、蝦夷地。北海道の問題は、私が研究している18世紀半ばから始まってまだ終わっていないですね。北方領土の問題は江戸時代からの名残だと思えます。日本と韓国の間にあるあの島の問題も、その延長線だと思えます。

—韓国が境界?

金 境界というのは文明の境でしょ? 他の文明との衝突地点でもある。アイデンティティも漠然、二つの言葉を使う、そこはひとつの文明の終わりであると同時に始まりとも言える。韓国という国自体が境界的な意味を持っていますね、中国文化と西洋文化と日本文化との。

—それで先生は境界ということに敏感なんですか。

金 韓国人がそうであるとも言えます。韓国のアイデンティティ自体は北です。高麗、高句麗、中世国家ではなく、古代国家の高句麗です。余談ですが、私のいる高麗大学は1905年に創設された。植民地になる直前です。民族意識の高まり、大陸にあった高句麗に民族の原点があるという意識があって、わざとこういう名前をつけたんです。現在ある韓国のメジャーな



キム シドク

大学と言えば、ソウル大学と延世大学、高麗大学なのですが、ソウル大学はもともと京城帝国大学で日本が作ったもの。延世大学はクリスチャンなんですよ。だから西洋人が作ったもの。その中高麗大学は韓国人が自主的に作ったから一番民族的な大学なんだという主張があるんですよ(笑)。

韓国人のDNAを調べると99%が南の人なのですが、意識の中では北嗜好。大陸、サハリン、旧満州、沿海州には親近性をもっています。

—へえ。ちょっと私たちとは違う気が……。

金 そこが日本人と違うところですね。日本人は北と言っても、アイヌ、蝦夷、北方と言われる所を意識していない。領土的には日本の領土だけれど、興味はないというか。

日本は島国意識と言いますが、実は広いです。韓国は北海道とほぼ同じ面積。北朝鮮と併せても日本の方が1.5倍ほど広い。ですから江戸時代の古文書・古文書を読んでいると島国意



授賞式 2011年9月2日 パレスホテル立川

識はなかった。琉球王国にはその意識があったけれど、日本国民は広いと思っていたんです。曖昧な広さではあるけれど、日本は広い。現在領海は最大限まで広がっている。それなのにあって「島国だから」とやっているのは、ある意味被害意識であり、現代においては第二次大戦の責任意識を消すためかなとも思います。

—被害意識?

金 例えば旧満州からの引き揚げ。引き揚げの悲惨な状況というのは確かにあったと思いますが、悲惨な状況が起こる前提条件、どうしてそこに日本人がいたのか、それはあまり問われない。とにかく引き揚げは悲惨だった、貧しかったと、それだけが強調される。国が民衆を戦争に追い出したのに、国の責任がなくなって、主体がなくなって、民衆の苦しみだけが残る。

—そうですね。福島県の原因も同じことが言えるかな?

金 責任の主体がいつのまにかなくなって、国民に節電を強制しているじゃないですか。責任の回避です。はっきりと責任を問わないで、国民みんな頑張らましよう……これは基本的に人間の特徴だと思いますね。

—言われる前に言ってしまうとか、やられる前にやるとか?

金 そうです。日本もアメリカもそうなんです。帝国主義は被害意識に基づいている。自分は侵略されるのは相手が悪いけど、相手が攻撃してくるまえにこちらから攻めるのは正当防衛だ。SF映画がそうですし、西部劇でもインディアンに襲撃されるじゃないですか。白人が西部にいるから襲撃されるんですね。領土を侵略するからされる。でも、そういうことを忘れて、インディアンは加害者で白人は被害者なのだと、そればかりが残ってしまう。それだけが宣伝されて、インディアンは悪者になってしまうんです。それで追いやられてしまう。そういう繰り返しが日本も同じだった。沖縄、朝鮮、蝦夷に関しても。私が研究している蝦夷に関する小説とか読んでみると、義経が渡るという伝説がもともとあって、蝦夷の人はものすごく悪くて、義経が良くしようとしているのに話を受け入れないので、仕方なく征伐して文化を教えるんだと。もしくは蝦夷がモンゴルから侵略されそうなので、蝦夷の人を救うために予防戦争を起こすのだと。それは江戸時代もそうだったし、太平洋戦争もそうだった。

—先生の研究によれば、日本の古典にもそんな軍記があったということですか?

金 日本の古典に興味を持っている外国人だ

から見えてきたことかもしれない。日本にも平家物語とか太平記とか軍記物がありますね。よく言われるのは、日本には外国との戦争がなかったから日本にはそういう文学がない。でも実際に私が見てみたら、山のようにあったんですよ。朝鮮太平記・朝鮮征伐記とか、義経蝦夷勲功記とか。誰も見ようとしない。それに言及しようとして、西鶴とか芭蕉とか美しい日本、平和日本とばかり言ってきた。唯一の被爆国として、平和日本のブランドで日本は生きてきた。ですからそれを言うのはあまり都合がよくないし、ある意味加害者なので言いがかりかたのしょうね。

—なんともコメントしづらいのですが……。

金 私が言いたいのは「征伐」とか「帝国主義」は被害意識から始まるということ。世界で一番被害意識を持っているのはアメリカではないか。それが9.11事件もあって、現実のものになりました。それでアフガニスタン・イラクを侵略した。防衛するという意識、それはアメリカの原体験であるイギリスからの独立というものから由来する被害意識から生まれたものと言っても過言ではないと思います。日本もそうです。モンゴル・高麗からの侵略があって、秀吉はその復讐として朝鮮出兵をすると言っている。そういう仕組みが繰り返される。秀吉の戦争が日中戦争でまた思い出される。記憶が呼び出されて、再利用される。

—秀吉はどうやって?

金 秀吉はインドまで手紙を送っているんです。ゴアのポルトガル総督に手紙を送って、すぐ行くから降伏しろと言ってるんです。フィリピンのスペイン勢力にも送って、台湾にも送ったけれど台湾は王国ではなくて部族の集合国家だったので手紙の宛先がわからず戻って来たんです。

—手紙ってどうやって?

金 商人が運ぶんです。ともあれ、普遍的なものとして、いわゆる中国文明の外で、ある程度の力が蓄積されると発散口は中国になるのかな。清やモンゴルはたまたま成功して、高句麗や渤海、秀吉などは失敗したケースですね。

—こうした被害意識を持つ国が冷戦時代とは



また異なる難しい局面にあって、先生は世界平和ということにどう向き合っていくのでしょうか?

金 今まで実現されたことはないけど、これから実現させなければならぬと思っています。ドイツ語で「Sein」ザインと「Sollen」ゾレンと言いますが、「あるもの」と「あるべきもの」の二つがあります。あるべきものという理想はある程度必要だと思いますし、実際接触してみても合えるということがあります。韓国でも同じなんです。右翼と言われる人たちは外国に興味がないですよ(笑)。

—興味がない、利害関係がないと相手からわからないですね。個人レベルでよく知っていると、その国の人を悪く言えないですもんね。

金 戦争でわかっていくという経緯があります。ドナルドキーンさん、最近日本国籍を取得しましたね、それとかライシャワーさん。こうした親日家の方は、みんな元は軍人です。軍人は相手を知らなければならぬ。いろいろ調べていくと親近感や理解が生まれてくる。戦争でわかっていくんです。だから避けなくてしっかり研究しないとイケない。

あと韓国で日本の古典学の研究成果を紹介しつつ、日本人が韓国に持って来て1945年にそのまま残っていた蔵書。時々日本人の研究者が来てちょこちょこ調査して帰って、個人レベルで発表しているも何の意味もないと思うので、韓国においてはそういう物を積極的に研究し、逆に日本に発信してもいいかなと思っています。壬辰戦争(文禄・慶長の役)に関する文献の翻訳、江戸文化の紹介。江戸文化は本当に面白い。そういうものを外国にもっともっと紹介することが大切かな。お互いに興味を持つこと、知り合うことが世界平和につながるかと考えています。

# 光に出会う

映画「おくりびと」 原案者 青木新門さんと  
同席者 國學院大学 日本文化研究所 准教授 平藤喜久子さん



——素晴らしい講演でしたね。お客様の反応もとてもよくて。

**青木** よかったね。心が通じ合ったもの、僕と。

——面白かったです。深い話を分かりやすく、落語みたいに話してください。

**青木** 情というものがある心と通じるんですよ。それはね数学者の岡潔さんが言ってたんです。日本人の基底には情というものがある、数式や論理は手段に過ぎないと。湯川秀樹さんをして「天才」と言わしめた世界的数学者ですよ、岡さんは。天才というのは少し変わったところがあるんですよ。天才は飛んでいる。今、馬の話をしてたかと思うと、牛の話をしてたか(笑)。——先生は納棺夫として、何体のご遺体を送られたのですか？

**青木** 10年で3000体。

——それはもう、「毎日」みたいな世界ですね。

**青木** そうね。

——今日は平藤先生も一緒ですが、平藤先生、いかがですか？

**平藤** はい。日本は今仏教離れと言われてます。病院から直接火葬場へといった直葬も増えてきているなかで、東日本大震災が起きて、きちんと送ってあげられない悲しさということが報道されました。仏教離れと言われてる一方で、ちゃんと送るということをもみんな考えたのだからかと思ってるんですが……。

**青木** 僕ね、相馬で講演してきたんですよ。その時にその場で作った詩を朗読してきたんです。こっち側にいる人は、今あなたが言ったように「送ってあげられない」という思いを持っているけれど、亡くなった人はそうではないんだという話を僕はしてきたんですよ。

**平藤** 今日は、震災に関するこうした報道などを聞いて、先生がどんな風にお感じになったかを聞いてみたかったです。

**青木** これがその詩ね。

「被災地へ贈る詩」

桜咲き 芽生える青葉 命は僕らのために  
なんて美しい東北の春なんだろう  
青い空 白い雲 豊かな海 僕らのために  
なんて美しい三陸の海なんだろう  
瓦礫の中に少年の笑顔  
無縁社会も一夜のうちに  
笑顔で交わす  
ひとりでないよ  
大きな悲しみ 和の心  
大慈大悲は僕らのために  
なんて美しい日本なんだろう  
なんて美しい日本なんだろう

と、詠んで来ました。どういうことかという、亡くなっていく人は瓦礫を見ていないんですよ。

——う〜ん。

**青木** 三陸の青い空とか豊かな海とか。残った人が瓦礫を見ているんです。そのところをね、亡くなった人が寒かったろうとか冷たかったろうとか、勝手な事を言わないで下さいということなんですよ。亡くなった人は、長くお世話になった人、お父さん、お母さん、ありがとうと言って亡くなっているんですよ。それを信じて下さいと話してきました。ですからきちんと送ってあげられないとか葬式ができないとか、野菊一本立てるでも小石ひとつ置くんでもいいじゃないですか、と。ゆとりができたなら何でもすればいいんで、それを地震も何も起きていない所と比べて何もしていない何もできないと思うこと自体、おかしいとね。

**平藤** 先生のこの相馬の現場でお作りになった詩は、遺された方の救いになっていますね。

**青木** そうそう。亡くなった方をどうとらえるかで、遺った人の心が安心したり不安になったりする。亡くなった方が地獄へ行つたと言われると、辛くなる。でも、亡くなった方はあなたに「ありがとう」とにっこり微笑んで逝かれたんですよと言うと、安心してすっきりする。

——先生、ひとつうかがいたいですけれど。講演の中でも先生は最後の方で太宰治、川端康成、三島由紀夫などの自殺について触れられていたんですが、家族に突然自殺されてしまった遺族は、「私が悪かったのではないか」とか「何を悩んでいたのだろう、わかってあげられなかった」とかとても悩むそうです。そういった遺族への救いについてはいかがでしょう？

**青木** ……あのね、それは難しい問題だね、……自分の愛する人とか自分が産んだ子どもとかを失った遺族の心を安らげるといことは、とてもじゃないけど、なかなか。仏陀でも苦しんだんですよ。

——そうですね。

**青木** それはもうね……、その遺族の悲しみをじっと聞いてあげるしかない。遺族は自分で気づくしかない。そういうことが書いてあるのが「観無量寿経」っていうの。仏陀は最後まで一言も言わないで黙って聞いている。韋提希夫人というのがひとり土下座してみたりいろいろするわけです。で解決するのは宗教というか、光しかないわけです。

——光ですね！講演の中でおっしゃった、ご本にも書かれていますね。

**青木** 光の世界に出会うということが真如に出会うということですよ。で、真如死つていうんだね、ここは(笑)。



平藤喜久子さん

——ありがとうございます(笑)。

**青木** (お茶菓子のパンを指差して)パンがあるんだね。「パンがなければケーキを食べればいい」と言ったのはマリー・アントワネット。

——まったくいろいろなことをご存知ですね。博識というか、物知りというか、もうホントにすごい！

**青木** だからさっき言ったでしょ。今、馬の話をしてたと思ったら、次は牛の話だって(笑)。

(一同爆笑)

頭の中がゴミ屋敷みたいになってるんだ。——天才の証拠ですね。あらゆる引き出しが開きっぱなしになっている？

**青木** そう、開けっ放し。だからね、牛が出てきたと思ったら次はマリーアントワネット。——(笑)畏れ入りました。それにしても、先生の話は普段なかなか聞けない話だから、本当に面白いし、聞きたくなりますよね。

**平藤** 頭で考えた「死」ではない「死」の話って聞けないですからね。お坊さんだつて、頭で考えた「死」を話されるから。

**青木** 戦後の既存宗教や学者は頭で考えて解釈する。だから観念なんですよ。仏教は語れるけれど、仏法は語れない。

**平藤** なるほど。

**青木** 仏教というのは本当は仏法を伝える手段なんです。作家も仏法は語れない。なぜかという「人間親鸞」「人間蓮如」、人間ばっかり言ってる。言ってみれば阿弥陀さんを語るのに仏像を語っているようなもんですよ。

——すっごくよくわかります。

**青木** 人間が邪魔して法が見えなくなる。

——本当は法がわからないとか？

**青木** 法とは光なんですけどね。真如なんですけどね。

——先生が光や真如をわかったのはいつからなんですか？

**青木** それは僕が8歳の時に妹を捨てたその瞬間ですよ。でも、その時は小さいからそれが真如だとはわからなかつ

青木新門さん



た。あとからわかっていくんです。

——戦後のその、亡くなった妹さんを捨てなければならなかったというのも、すごい体験ですよね。

**青木** 出会いですよ。妹の話も、講演で話した恋人の話も、ちょっと時間がズレたらすべてその瞬間には立ち会えなかった。ですから何でも出会い。「ウジが光って見えた」という文章を原稿に入れたから、19年前本木君と出会えたわけです。あの文章を入れて、本木君がそれを読んだから、出会えて今がある。

——その1行で映画化を考えるモックンもすごいですよね。

**青木** うん。それともう1つ、本木君が私を尊敬しているのは、「必ずアカデミー賞とりますよ」って電話で言ったのが、ほんとに当たっちゃったから(笑)。こっちは何の根拠もなしにいい加減に言っただけなのに、本当に当たっちゃったからね。

(一同爆笑)

[2011年11月18日  
「応現院文化講演会」終了後のインタビューから]

●2011年11月18日(金)に開催された「応現院文化講演会」が下記の予定で放送されます。

JCNプラスチャンネル(マイテレビ) 11ch  
2012年1月23日(月)から1月29日(日)  
22時00分~23時00分  
スカパー! Ch.216 ベターライフチャンネル  
2012年2月4日(土)、2月14日(火)  
22時30分~23時30分

[タイトル]  
『第10回応現院文化講演会  
いのちのバトンタッチ — 映画「おくりびと」に寄せて — 講師：青木新門氏』

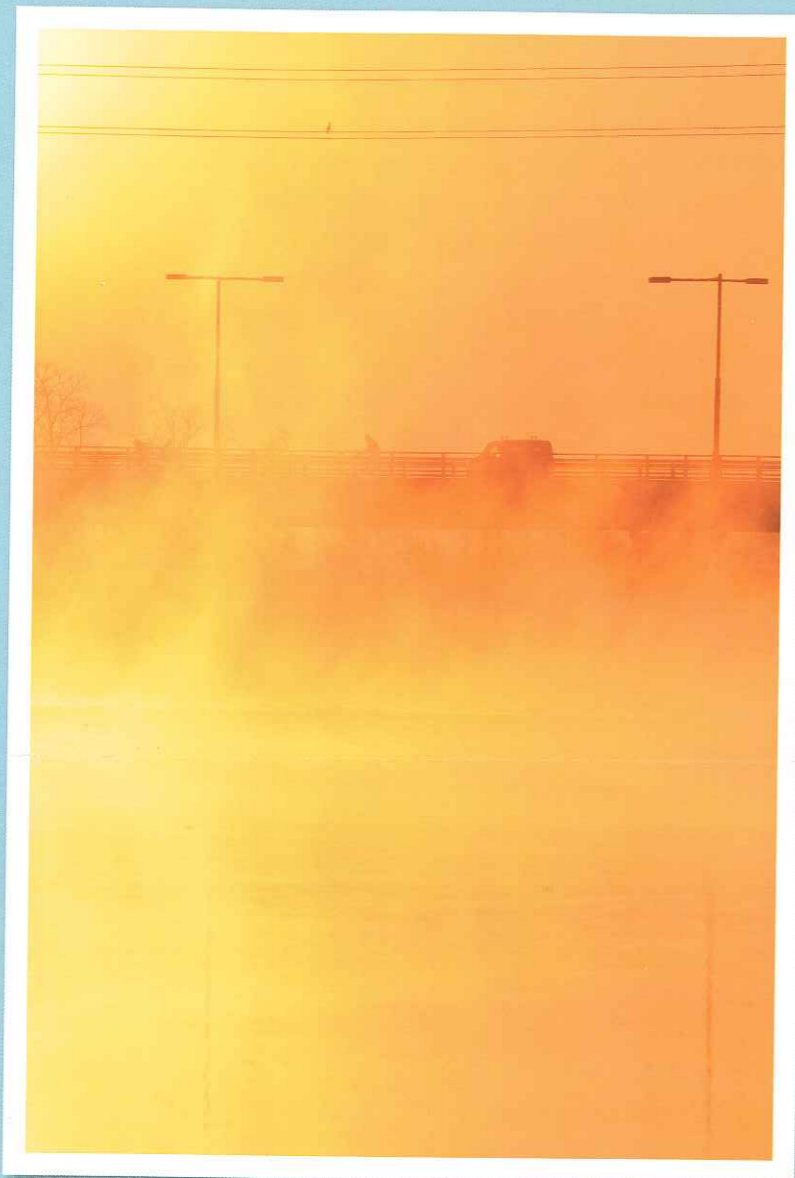
えくてびあんの輪

えくてびあんはリストのお店にあります。  
 今月は 曙町・羽衣町・錦町 のお店です。

- 曙町**
- 立川市女性総合センター アイム 528-6801
  - エミリーフローグ 立川高島屋店 526-9788
  - 立川高島屋 サービスフロア 525-2111
  - オリオン書房 ノルテ店 522-1231
  - JTB 法人東京 西東京支店 521-5550
  - 元祖つけ麺 味幸 527-4701
  - 鉄板焼 千珠 529-6787
- 羽衣町**
- 額縁専門店プリムベール 528-6789
  - たましん 東立川支店 524-0611
  - ギリシャ料理 SHUPOUL 519-3923
  - 林歯科 522-5657
  - 中島豆腐店 522-5732
  - フレッシュフルーツ 立川商店 522-3565
  - 本・事務用品 泰明堂 522-3353
  - 文具のないう 522-3677
  - テラー安武 522-4820
  - 赤松タバコ店 524-7852
  - まごころ銘茶 狭山園 527-0146
  - 美容室ヒロイン 紅 526-0018
  - お好み焼ともんじゃ焼 こけし 526-1267
  - 鉄板 Daining Restrant Archange 528-2904
- 錦町**
- めがね・とけい・補聴器 カワハラ 525-4427
  - 鳥料理くし秀 522-7692
  - イタリア料理 トラットリア ドンシエ〜 512-8735
  - 御菓子司 やな瀬 522-3969
  - 宮地楽器 MUSIC JOY 立川南 526-1779
  - 中国料理 五十番 522-7472
  - 一六珈琲店 527-1680
  - 手づくり味噌の材料専門店 北島こうじ店 524-3190
  - new gyoza 1059 餃子天国 526-2283
  - イタリアンダイニング asa 529-5668
  - ワインバー パラアラディ 523-3917
  - テーブルウェア H.works 521-2721
  - カフェ CAFÉ SOMMEILLER 527-1440
  - 食堂 marumi-ya 528-6226
  - 手うち蕎麦 なかさと 524-5758
  - 中国整体院 529-1088
  - 中国菜館 多味軒 526-5925
  - 焼きそばの店 ヴァイツェンプロト 527-2176
  - 日本クッキングスクール 522-3440
  - ラーメン店 麺や光 525-5539
  - ザ・クレストホテル立川 521-1111
  - 美容室アリス 525-1100
  - パンと洋菓子 うちのやブルマン 524-9280
  - 画廊 無門庵ギャラリー 529-2323
  - 美容室 FALCO 528-2389
  - 諸官公庁御用達・日用雑貨 池田屋 522-3731
  - N HAIR WORLD 523-5336
  - しゃぶしゃぶ・鍋料理 しゃぶ・りん 527-2228
  - TTM 株式会社 524-5787
  - スペイン料理 TAPAS 529-0733
  - Bakery Cafe Crown 526-2226
  - 三田花店本店 524-4187
  - いわさき痛みの整骨院 529-5123
  - (有) 朝日屋酒店 525-6333
  - にしやま薬局 525-9212
  - アミューたちかわ 526-1311
  - アミューたちかわ カフェリルケ 526-1311
  - たましん 錦町支店 528-0511
  - そば処 高尾亭 522-2710

立川のすごいところ ⑦

「日野橋」



朝ぼらけ 宇治の川霧 たえだえに  
 あらはれわたる 瀬々の網代木

水温が気温より高い朝、多摩川にはもうもうと川霧が立っている。網代木こそ見えてはこないが、刻々と表情を変える光の世界。背に赤く染まった富士を負い、水面に野鳥のシルエットが浮かぶ頃、橋にも動きが見えてくる。にわかには立川とは思えない、やっぱりここは、立川のすごいところ。

jorakugajo

真如苑提供番組〈常楽我淨〉

スカイパーフェクTV：216ch  
 マイ・テレビアナログ：11ch  
 デジタル：111ch

放送時間については番組表をご確認ください。

www.shinnyo-en.or.jp

街の話題

SOHOプラザ立川 オープン!

ビジネスホテル「安川」が起業家支援施設に

Small Office / Home Officeを略してSOHO。新しく起業する人たちに事務所として貸すのが基本。従来マンションの1室などを仕事場にする人は多かったが、こうして小さいオフィスがまとまるケースは珍しい。10m<sup>2</sup>、12m<sup>2</sup>、20m<sup>2</sup>の3タイプ、19室。それぞれ4.5万円、4.7万円、5.5万円の家賃で、駅に近く商店街の中という立地を考えるととてもお得。

昭和28年に両親が創業した旅館を引き継いだ現社長 岩田多喜夫さん。時代に合わせてビルを建て替え、「ビジネスホテル安川」として多くのお客様に親しまれてきた。仕事で長期滞在のお客様などは、何ヶ月も泊まっているうちにまるで家族のようになってしまったり、真如苑の大祭ともなると、3日間満室で従業員はフル回転。また団参のある時などは、観光バスの運転手さんも休憩に使ってくれたという。馴染みのお客様の中にはホテルの廃業を伝えると「お宅しか使ってこなかったのに、どうしよう」という声も。惜しむ声は多いが、リーマン・ショックさらには震災後の客足減少は止められず、廃業を決めた。

SOHOプラザに改装するにあたり、ホテルの中にあった家具は捨てるつもりだったと岩田さん。しかし、つながりがつながらを生んで、これらの家具は東日本大震災で被災した障害者の方たちの交流の場である民間施設「しんせい」に届けられた。机や椅子をトラックに積み込む時、国産の木材を使った品質の良い家具であることがわかり、「親父がいいものを買っておいてくれたんだなあと思いましたよ。これなら引き取って頂いてもよかったと思ってね」と岩田さんも嬉しそう。

客室はきれいに改装されて、事務所になる日を待っている。こんなところからも立川の元気が生まれてくるのかもしれない。

問い合わせ先

立川商工会議所 042-527-2700  
 良銀 042-522-6702 SOHOプラザ立川 042-523-1735

75年の時を越え

お不動様と初対面

立川市の植木屋さん 植木の現親方 細野功さんが、2011年11月28日に柴崎町にある真如苑を訪問し、初代親方 細野源寿さんが運んだと言われているお不動様を、念願かなって初めて参観した。このお不動様は真如苑総本部の境内にあり、砥石でできている。この日はちょうどお不動様縁の28日。細野さんは「うちはこのお不動様のご縁でしょうか、お寺の植木ばかりさせていただいています」とおっしゃっていた。

天空の不思議

2011年12月7日。立川上空は朝から澄み渡っていた。早朝には日暈と幻日が現れ、お昼過ぎには環天頂アーク。12月10日には皆既月食を見上げた方も多いただろう。2011年、立川の美しい空をまとめた写真集「天界の荘厳2011」は、多摩でばこネットに好評掲載中。



SOHOプラザ立川ビル外観



きれいに改装された室内



真如苑総本部境内にて(柴崎町)

やさしさの器をいっぱいにして

小児科医 内海裕美先生の公開講座

2011年12月8日 泉町の応現院で市民のための公開講座「愛着の発達について」が開催された。今回の講師は吉村小児科院長・チャイルドライン支援センター副代表理事の内海裕美先生。お話の中には「人は誰でもやさしさの器を持っている」「授乳しながらのメール」「夜中の授乳に『授乳なう』とつぶやくお母さん」など、気になる言葉がいっぱい。少子化時代、一人ひとりの子どもを大切に育てるために、お母さんだけでなく誰もが聴いておきたい話だった。

表紙の人

橋本富美子さん  
 橋本正明さん・ライヤさんご夫妻  
 幸太さん、橋本順子さん

今年至誠学舎立川は創設100周年を迎えます。3つの事業本部の1つ、至誠ホームは創設者 稲永久一郎・ヨシ夫妻(肖像画)の4女富美子さんがご主人の故 良市さんと始めたもの。60年を経て、ご長男 正明さん・ライヤさんご夫妻、お嬢さんの順子さんなどご家族と共に社会貢献の新時代を開いていく……。すばらしいです!

かたこと

◆裏表紙の話から。「ここから見える富士山」は、えくてびあんがずっと温めてきた企画です。中央線、最初に富士山が見える駅はどこか?とか、富士山と絡めて撮るなら何がいいか?とか。そして第1回、それはやっぱり「ダイヤモンド富士」でした。最も美しい「立川からのダイヤモンド富士」を撮るために、カメラマンは毎日場所を移動し追い続けました。冬至以降は極地研の中村卓司教授が協力してくださり、ここなら撮れるという位置を計算で予測。立川だからできるすばらしく楽しいコラボ企画となりました。◆極地研のお隣、国文研からは金時徳先生のタイムリーなお話。緊張感漂う社会情勢の中、際どいと思われるテーマの取材でした。東日本大震災後、国文研副館長の武井先生は「文学に何ができるか」をお話くださいましたが、金先生、「世界平和に貢献する文学」を語ってくださいました。◆応現院文化講演会はいつも大変な人気で、常に満席です。当日青木新門さんの講演を聴けなかった皆様、インタビューでその面白さを少しでも味わっていただけたでしょうか?◆「この人この店」も1月号で100回になりました。次号からは新しいお店コーナーの始まりです。美味しい味、面白い店、楽しい店主など、皆様からのたくさんのお情報、お待ちしております。

えくてびあん◎

2月号 第30巻 通巻327号

平成24年2月1日発行  
 発行 有限会社えくてびあん  
 〒190-0023  
 東京都立川市柴崎町2-1-10 高島ビル4F  
 TEL 042-528-0082  
 FAX 042-528-0065  
 URL www.tamatebakonet.jp  
 発行人 黒須 環  
 企画・写真・編集 えくてびあん編集スタッフ  
 デザイン 池田隆男  
 (WATER DESIGN ASSOCIATES)  
 印刷 三浦印刷株式会社

無断転載を禁じます。



---

## ここから見える富士山 ①

---

ダイヤモンド富士 パークアヴェニュー (曙町)

富士山の頂上にまっすぐ太陽が沈む時、ダイヤモンドのように輝くところからこの名がついた。山中湖からのダイヤモンド富士は青空をバックに透明な光を放つが、立川はこの瞬間強い暖色に包まれる。12月～1月、冬至をはさんで2度見るチャンスがある。

---